

川口市文化芸術基本計画(第2期)(案)に対するパブリックコメントの結果について

◆意見募集期間：令和6年2月5日(月)～3月5日(火) ◆意見提出方法：窓口持参、郵送、FAX、電子メール

◆意見提出者数：3名 ◆意見数：7件

No.	主旨	意見の概要	市の考え方
1-1	意見	他地方都市、東京都と川口市の文化云々と比べると。。やはり美術館がない。まあこれは考えてくださってるようなのでいいとする。企画展、練馬区 世田谷区は、区立美術館でもかなりのレベルの企画展をやっている。特にセタビ(世田谷美術館)に関しては、駅から遠く不便だが電車バスを乗り継いで行っている。元ゴルフ場らしく砧公園の敷地内でレストランも併設してある。練馬は駅前に美術館と公園が一体となっていてレストランもある。区のレベルで、これほどの企画展を行うってさぞかしお金もかかったらと思う。まあ、練馬区は、昔から漫画家も住んでいたし映画の撮影所もあるから文化度は高いと思う。学芸員がいいからなのかもしれない。川口もいい企画展が出来ることを願っている。それとやはりちゃんとしたレストラン。主婦層は、『美術館の帰りにランチしてくる』これが、庶民のちょっと文化的な欲求を満たすことだと思う。上野公園内の美術館のレストランは精養軒だ。昔からの老舗で、高齢者マダム達がいかに好きそう。食も文化だからだと思ふ。	多くの彫刻が設置されている西公園、川口総合文化センター、美術館が集積する川口駅西口エリアを文化芸術拠点として捉え、魅力的な活用方法を検討しているところがございます。また、美術館だけでなく川口総合文化センターや西公園と連携した魅力的な企画も開催出来るよう努めて参ります。この他、美術館内にはカフェまたはレストランを併設する予定です。
1-2	要望	音楽に力を入れている中学校も多いと思う。その割には、私が存じてないだけかもしれないが彼らが活躍できてないと思う。もっと、たくさん披露の場があってもいいと思う。東京藝大だったか、『大学音楽フェスティバル』をやっている。都内のオケのある大学が、集まって演奏会をやっている。それと多分、東京都が主催だろうと思う。『東京 春 音楽祭』みたいなのを市内各地でできないだろうか。屋外でもいい。キュポラの上のフランディア、駅の改札、ジュリアン、キュポラの前の広場、旧そごう、公民館など。川口市が蕨より税収入が多いのに、音楽関係がイマイチ。美術館もだ。蜷川さんも川口市出身だというのに演劇活動もイマイチ。がんばってほしい。せめて金沢市レベルの文化度が欲しい。金沢市は、オケもあるし美術館は、県立と金沢市と二つある。	本市においては、文化施設が不足しておりますことから美術館をはじめとする施設の充実を図って参ります。なお音楽イベントとして、川口フェス実行委員会による「川口フェス」がキュポラ広場、並木元町公園等を会場として毎年開催されております。
1-3	要望	医療センターの、小さな演奏会、再開してほしい。	令和元年12月を最後に現在開催されていないところでありますが、いただいたご意見を医療センターに申し伝えます。
2	意見	文化芸術に触れることで、心が育まれるなどよく耳にしますが、それは前時代的な考えです。軸はずで、動画コンテンツに移っています。もっと昨今の社会情勢を勉強しましょう。言い方が悪くなり恐縮ですが、施設や美術品などの有体物に支出することはお金をどぶに捨てるようなものです。	絵画で言えば絵具の厚地や繊細なタッチなど実物を見ないとわからないこともございます。しかしながら動画コンテンツなどのデジタル技術を活用した映像配信等による新たな鑑賞も広がっておりますことから、それぞれのバランスを考えながら取り組んで参ります。
3-1	意見	A)障害者に対する対応 様々な川口市の計画の中に、DX、インクルーシブ、高齢者、障害者、多文化共生という文字が入っています。この計画にも同様の意味合いのものも含め、文化芸術基本法をはじめ多数入っています。法律には文化芸術基本法の他、障害者差別解消法のWebアクセシビリティもあり、だれもが情報にアクセスできる環境整備が必要なわけですが、このパブコメはテキスト化されておらず、読み上げが出来ない状態です。パブコメの段階でこのような状態。本当にDX、インクルーシブ、障がい者、多文化共生が文化芸術面で出来るのか、非常に疑問を感じます。この計画にある全ての取り組みにおいて、フィールドワーク等のワークショップを市民交えて行い、その上で意思決定して頂くことが必要に思います。 教育大綱との関連もあるもの。教育は時間がかかります。突発的に出てきたような印象がある美術館構想も含めてこの計画は、突発的な印象があるため、よりこれまで以上に障害者も含めた多くの市民の合意形成が必要だと思ひます。芸術に重きをおくような文言が教育大綱にあったでしょうか。美術館には膨大な費用がランニングコストとしてもかかりますがこれに値するような目新しいことは見当たりません。また、肝心な教育大綱のPDFもテキスト化されていません。美術館には膨大な費用がランニングコストとしてもかかりますので、一部の方達で進められているような印象を持たれては良くないのではないのでしょうか。市民を交えたワークショップを行った上での意思決定は、多くの他市区町村でも行われていますので、疑念を払しょくするためにも同様の仕組み作りが必要だと思ひます。	障害をお持ちの方へのパブリックコメント対応については配慮が足りなかったものと考えております。また、市民参加につきましては、いただいたご意見も参考に検討して参ります。
3-2	意見	B)歴史について ここにある歴史的なものは点でしか考えられていないように見受けられます。旧田中家住宅がある日光御成道は、御成道まつりによって面での取り組みが出来ましたが実行委員会が解散してしまいました。全市的に歴史を見ていき、面で捉えることができる「歴史的風致維持向上計画」を策定することが最重要なように思ひます。	本市の歴史については全市的に考えて参ります。また、ご提案いただいた計画については現時点では策定予定はございません。
3-3	意見	C)インターネットの活用について 情報発信を目的としたインターネットの活用が掲載されていますが、Web3によりVRやARなどが今後ますます身近なものになってきますので、情報発信だけではなく作品展示のためのネット活用の視点も重要です。また、ライブ配信が出来るよう通信インフラの整備も同様に重要です。	インターネット環境を用いたデジタル技術の活用は今後益々必要になると考えますことから、いただいたご意見を参考に検討して参ります。